

第150回 教育研究評議会 議事録

日 時 平成29年 6月 8日 (木)
13時30分～15時10分
場 所 事務局第一会議室 (本部棟3階)

出席者

学長 (議長)	長谷部
理事	大門, 森下, 中村, 箱田
副学長	高木
教育学部	杉山, 加藤, 室井
経済学部	中村, 永井
経営学部	原, 谷地
理工学部	羽深
都市科学部	齊藤
国際社会科学研究院	泉, 佐藤, 荒木
工学研究院	渡邊, 新井, 高田
環境情報研究院	根上, 大谷, 金子
都市イノベーション研究院	佐土原, 白水, 山田
教養教育主事	上ノ山
附属図書館長	志田

議 事

I 議事録確認

第149回議事録 (案) (資料1) について, 原案のとおり確認した。
なお, 委員から議事録確認について, 記憶が定かなうちに確認したいので, 会議終了後に議事録だけ先に確認させていただきたい旨の意見があり, 議長 (学長) から対応したい旨の発言があった。

II 報告事項

1. 議長報告

議長から, 次の事項について報告があった。

- (1) 発明表彰授与式 举行 (4/24,5/8)
- (2) 横浜国立大学都市科学部・教職大学院開設記念式典 举行 (4/27)
- (3) 神奈川県庁, 横浜市役所, 川崎市役所 訪問 (5/8)
- (4) 日中大学フォーラム (中国) 出席 (5/12-15)
- (5) 第39回国立大学協会関東・甲信越支部会議 出席 (5/16)
- (6) YNU校友会理事会・評議員会 出席 (5/25)
- (7) メリーランド州ライフサイエンスセミナー交流会 出席 (5/26)
- (8) 平成28年度横浜国立大学ベストティーチャー賞受賞式 举行 (6/6)
- (9) 紺綬褒章 (こんじゆほうしょう) 伝達式 (大澤澄子氏) 举行 (6/7)
- (10) YNU大澤澄子奨学金感謝状贈呈式・目録贈呈式 举行 (6/7)
- (11) 春の叙勲【瑞宝中綬章 (ずいほうちゆうじゆしょう)】授章
・池田 尚 治 (いけだ しょうじ) <本学名誉教授, 元大学院工学研究院教授>
・市川 博 (いちかわ ひろし) <本学名誉教授, 元教育人間科学部教授>
- (12) 平成29年度学長戦略経費 (第1次) の配分について (資料2-1)
- (13) 第1回YNU21サロン (YNU21を語る会主催) (資料2-2)
- YNUの課題と解決を考える① (教育・研究) -

2. 委員会報告

議長から, 委員会の開催状況について, 資料2-3のとおりである旨報告があった。

3. 部局等報告

各部局等から、次の事項について報告があった。

- (1) 理事（総務担当）
 - ・横浜国立大学大学院理工学府設置準備委員会要項の制定について（資料3-1）
 - ・国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則等の制定について（資料3-2）
 - ・大学HP「教職員採用情報」に掲載するメッセージについて（資料3-3）
- (2) 理事（研究・評価担当）
 - ・第2期中期目標期間評価結果について（資料3-4-1～2-4-2）
- (3) 理事（国際・地域・広報担当）
 - ・YNU教員のための留学生指導に関する12の情報について（資料3-5）
 - ・大学間学術交流協定の締結等について（資料3-6）
 - ①華東師範大学（中国）との大学間交流協定の更新（資料3-6-1）
 - ②ユタ州立大学（アメリカ）との大学間交流協定の更新（資料3-6-2）
 - ・留学生就職促進プログラムについて（資料3-7）
- (4) 理事（財務・施設担当）・事務局長
 - ・祝休日授業開講（7月17日）に伴う業務体制について（資料3-8）
- (5) 副学長（教育担当）
 - ・平成33年度以降の入学選抜方法検討のためのWG設置について（資料3-9）
- (6) 教育学部長
 - ・日本教職大学院協会総会について（資料3-10）
- (7) 理工学部長
 - ・第67回国立大学工学部長会議・総会について（資料3-11）
- (8) 都市イノベーション研究院長
 - ・チュラロンコン大学工学部（タイ）と横浜国立大学大学院都市イノベーション学府（日本）との間の部局間協定の締結について（資料3-12）
- (9) 施設部
 - ・平成29年度春の教育研究環境美化の日（全学一斉清掃）実施報告（資料3-13）

◎以上の報告のうち、委員から、議長報告の(12)及び部局等報告の(4)(5)(9)について意見・確認があった。

- ・議長報告(12)平成29年度学長戦略経費について
 - ①今年度の配分方針についての確認があり、議長（学長）から、昨年度までと基本的には同じであるが、学長ビジョン2016に基づいて、その実現に寄与するかどうかという観点を含めた配分方針である旨の発言があった。
 - ②学長裁量あるいは戦略にあったものだけを採択し他がゼロ査定にすることについて、学長のガバナンス強化という趣旨はよくわかるが、各教員のやる気や新しいことをしたいという気持ちも今後尊重していただきたい旨の意見があった。
 - ③全学一体改組ということで必要経費が増えているという点に対して、今後の対応について確認があり、議長（学長）から、第2次配分以降に向けて改めて申請をお願いしたいこと、全体として学長戦略経費が厳しい状況にあるというのはご理解いただきたい旨の発言があった。
 - ④学長ビジョンの中で新グローバル社会ということで留学生の確保ということがあげられていることから、経費の十分な確保について確認があり、議長（学長）から、国際戦略推進機構の中でまとめているが、申請があった部分については確保されている旨の発言があった。
- ・部局等報告(4)祝休日授業開講（7月17日）に伴う業務体制について
各部局における授業開講の対応で、記載以外の業務体制について明確にしてほしい旨の意見があり、理事（財務・施設担当）・事務局長から、業務体制は必要最低限の対応としたいことから、明確にした記載内容としたい旨の発言があった。
- ・部局等報告(5)平成33年度以降の入学選抜方法検討のためのWG設置について
横浜国大の負担が非常に多い状況が続いていることから、新テスト導入に対する具体的な対策について確認があり、議長（学長）から、国大協を通して意

見を伝えており基本的な対応はしていること、センター試験に関して、各部局ごとに対応の仕方が違うため、執行部として状況を調査把握した上で、出来るだけ軽減を目指していくという方向性は認識している旨の発言があった。

- ・部局等報告（9）平成29年度春の教育研究環境美化の日実施報告について
学生の参加者が少なすぎる部局があること、学園祭に参加する学生は当然参加すべきであり改善が必要であることから、状況を理解した上で次回の清掃に反映していただきたい旨の意見があり、施設部長から、指摘の部局も去年より参加者が増えており前向きな感じであること、当日都合が悪い場合は他の日時で実施し報告が可能であるため、今後ともご理解を得ながら進めたい旨の発言があった。また、秋の一斉清掃に向けて、こういった提案ができるか検討することとした。

III 人事事項報告

議長から、資料3-14に基づき、大学院工学研究院及び先端科学高等研究院の人事事項について報告があった。

IV その他報告

理事（研究・評価担当）から、前回の教育研究評議会にて工学研究院から質問があった、テニユアトラック普及・定着事業の中間評価結果2つのうち、機関に対する評価に対して、一段階落ちた形の評価の理由は不明であるが、最終評価のヒアリングでは評価が上がるような説明を工夫したい旨の発言があった。

V 審議事項

1. 「部局長選考方法の改革」及び「国立大学法人横浜国立大学部局長等選考規則の制定（案）」等について

理事（総務担当）から、部局長選考方法の改革について、資料4-2～資料4-3に基づき、部局からの意見及び意見への回答を説明後、資料4-1に基づき大学ガバナンスを踏まえた本学の部局長選考について提案があり、質疑応答後、審議の結果、提案のとおり承認され、経営協議会に付議することとした。これを踏まえ、資料4-4に基づき、本学の部局長等選考規則（案）の制定及び関連規則について所要の改正を行う旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、経営協議会に付議することとした。

なお、委員から、可及的速やかに実施していただきたい旨の発言があった。

2. 「平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）」について

理事（研究・評価担当）から、資料5に基づき、平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について、「大学の概要、全体的な状況、項目別の状況、別表」に内容が大きく4つに分かれている等の説明後、委員から、「項目別の状況」の進捗状況について、評価が厳しすぎるので全体に見直しが必要ではないかの意見があり、質疑応答後、審議の結果、委員からの意見を踏まえた上で承認され、経営協議会に付議することとした。

3. 「平成30年度概算要求（施設整備費要求事業）」について

理事（財務・施設担当）・事務局長から、資料6に基づき、「平成30年度概算要求（施設整備費要求事業）」について、新たに老朽改善等のため3件付け加え要求する旨の説明があり、質疑応答後、審議の結果、原案のとおり承認され、経営協議会に付議することとした。なお、現在、文部科学省と個別の事前協議中のため、要求については、変更等の可能性がある旨の説明があり、了承された。

また、委員から、過去に提出した事業が残っていて、待っている側としてのモチベーションの問題から、どのように順位を決定し要求していくのかについて確認があり、理事（財務・施設担当）・事務局長から、国立大学法人等施設整備5か年計画（H28～32年度）で文部科学省から重点整備について示されており、これに準じた形での概算要求をしていきたいことから、大規模改築を優先的に考えている旨の発言があった。

4. 「博士学位論文の適正な作成指針」について

副学長（教育担当）から、資料7に基づき、博士学位論文の適正な作成指針について説明後、大学院生が博士学位論文を執筆し提出するに際し、ご指導願いたい旨の発言があり、質疑応答後、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、委員から、剽窃検出ツールに関して、本指針に記載された内容が全学的な方針であること、また費用は、全学の支払いに移行するとの理解でよいのかについて確認があり、理事（研究・評価担当）から、図書館と検討する旨の発言があった。

VI その他事項

1. 「平成28年度決算」について

理事（財務・施設担当）・事務局長から、資料8に基づき、「平成28年度決算」について説明後、今後、6月30日までに文部科学省に決算書を報告したい旨の発言があり、意見を徴した結果、原案のとおり、経営協議会に付議することとした。

以 上